

○ 児童虐待予防地域協力員について

児童虐待の早期発見、早期通報、見守りや広報協力の活動を担うことを目的に、地域で活動する主任児童委員や民間の子育て支援活動を行っている市民ボランティアを『児童虐待予防地域協力員』として3年計画（平成17年から平成19年）により養成登録し、きめ細やかな児童虐待予防地域連絡網（ネットワーク）の整備に努め、1,250名の登録者を確保したところである。ただその後、登録者の諸事情により辞退もあり、平成22年3月末現在、1,162名となっている。

昨年4月の西淀川区の事件を受けて、市民にわかり易い24時間365日体制で、虐待の通告・相談を受け付ける「児童虐待ホットライン」をこども相談センター（児童相談所）内に設置するとともに広く啓発を実施したところ、センターにおける虐待相談件数は平成20年度の871件に比して、平成21年度は1,606件と1.84倍と増加している。

また、本年7月の西区の事件以降、児童虐待の発見通報・相談に関して、広報などあらゆる機会を通じて、市民への啓発を行ったことや全国的に頻発する児童虐待事件などにより社会的関心が高まったことなどもあり、センターにおける児童虐待相談件数がさらに急増しているという現状にある。

このような状況の中、『児童虐待予防地域協力員』には、虐待の早期発見、通報、関係機関へのつなぎや見守りを依頼し、地域における虐待をキャッチするアンテナとして機能することを目指しており、平成20年度から連絡会や研修会を実施し、『児童虐待予防地域協力員』とこども相談センター、区の子育て支援室との連携強化に努めている。

《児童虐待予防地域協力員の活動内容》

- ・ 地域における児童虐待の発見と関係行政機関等への通報
- ・ 民生委員・児童委員への、支援を要する児童及び家庭のつなぎと見守りの相談等
- ・ 行政機関等の児童虐待防止に関する広報の協力

平成21年度の児童虐待予防地域協力員の連絡会、研修会の実施状況

ア. 第1回 連絡会、現任研修会

【実施時期】 9月～12月

【開催区】 23区

【内 容】

- ・連絡会・・・児童虐待検証部会の検証結果報告
『児童虐待ホットラインの開設』
- ・研修会・・・顔合わせと事例検討

【参加数】 主任児童委員 303人 市民ボランティア 201人

イ. 第2回 連絡会

【実施時期】 2月～3月

【開催区】 24区

【内 容】

- ・児童相談所の移転について
- ・児童虐待相談の状況について
- ・意見交換会

【参加数】 主任児童委員 296人 市民ボランティア 173人

ウ. 全体会

【実施日】 3月6日

【場 所】 浪速人権文化センター

【テ ー マ】 シンポジウム テーマ「つながり」を感じてみよう

【参加数】 主任児童委員 88人 市民ボランティア 87人

平成21年度児童虐待予防地域協力員現任研修等参加人数

| | 協力員数 | |
|---------|------|------------|
| | 計 | 主任児童委員 |
| | | 市民ボランティア |
| 北 区 | 56 | 32 24 |
| 都 島 区 | 36 | 18 18 |
| 福 島 区 | 36 | 20 16 |
| 此 花 区 | 34 | 19 15 |
| 中 央 区 | 35 | 25 10 |
| 西 区 | 44 | 28 16 |
| 港 区 | 42 | 22 20 |
| 大 正 区 | 32 | 19 13 |
| 天 王 寺 区 | 35 | 17 18 |
| 浪 速 区 | 26 | 18 8 |
| 西 淀 川 区 | 40 | 23 17 |
| 淀 川 区 | 68 | 36 32 |
| 東 淀 川 区 | 67 | 34 33 |
| 東 成 区 | 34 | 20 14 |
| 生 野 区 | 73 | 38 35 |
| 旭 区 | 39 | 20 19 |
| 城 東 区 | 60 | 31 29 |
| 鶴 見 区 | 48 | 22 26 |
| 阿 倍 野 区 | 48 | 19 29 |
| 住 之 江 区 | 60 | 28 32 |
| 住 吉 区 | 59 | 24 35 |
| 東 住 吉 区 | 53 | 28 25 |
| 平 野 区 | 64 | 33 31 |
| 西 成 区 | 73 | 32 41 |
| 合 計 | 1162 | 606 556 |